



とちぎ農産物クチコミ隊事務局  
〒320-0811 宇都宮市大通り1-4-24 4階  
☎028(600)8800 FAX 028(600)8801

(社)とちぎ農産物マーケティング協会  
HP「カラダにとちぎ」  
http://www.tochigipower.com/



「とちぎ農産物クチコミ隊」隊長の吉沢秀郎です。みなさん、1年間よろしくおつきあいでございます。とちぎ農産物マーケティング協会理事長



クチコミ隊の皆さん、こんにちは。隊長の吉澤です。クチコミ隊も今年で4年目。隊員の方も408名と人数が増え、皆様の力が一段と大きくなって参りました。

皆様のアンケートを拝見させて頂いたとしますと、お子さんが野菜を好んで食べるようになったとか、産地を気にしているとか、産地を売りにした農産物が、日本を目指して輸出されて来ます。その結果食料の自給率が40%となってしまっており、農家も生産量を増やす努力をしなければなりません。消費者の皆様にも日本産の自給出来ない油脂類や肉類に偏った食生活から、日本型食生活を見直していただくこと

海外から価格の安さを売りにした農産物が、日本を目指して輸出されて来ます。その結果食料の自給率が40%となってしまっており、農家も生産量を増やす努力をしなければなりません。消費者の皆様にも日本産の自給出来ない油脂類や肉類に偏った食生活から、日本型食生活を見直していただくこと

「とちぎ農産物クチコミ隊」とは？ 食べ物そのま健康や成長に左右する園児のママパパに、ぜひ農作物をつくる農家さんと農業に興味を持って欲しいと願いをこめて、(社)とちぎ農産物マーケティング協会が「とちぎ農産物クチコミ隊」を3年前に組織しました。対象は園児とママの情報誌「あんふぁん」の読者親子。「あんふぁん」の東京版と神奈川版の約20万部の読者に、栃木県の農産物を知って頂くため「とちぎD.E.おやこ収穫体験」を定期的に掲載。そのアンケートを通して希望者に「とちぎ農産物クチコミ隊」の会員になって頂いています。継続会員には小学生もいます。任務はとちぎの農産物を気に入って頂けたら、たくさんの知り合いにクチコミしていただくことです。

とちぎ農産物クチコミ隊4期のみなさん、はじめまして。1期・2期・3期の継続していただいたみなさん、また1年、よろしくお願いたします。

## 知っていますか？ とちぎの農業

**栃木のイチゴ「とちおとめ」**

栃木は生産量日本一のいちご王国。鮮やかな赤色と大きくて甘さの多い「とちおとめ」は、10年連続1位のチャンピオン。日本を代表する人気品種になりました。この「とちおとめ」、実は栃木県が品種改良をして作った、とちぎの最高の自信作でもあるんです。最近では、とちぎ以外でも「とちおとめ」を出していますが、本場はとちぎ。栃木県の土地柄や気候にあわせて作った「とちおとめ」だから、とちぎの「とちおとめ」はもちろん最高級。ぜひ「とちぎのとちおとめ」を食べてくださいね

**栃木の黒毛和牛「とちぎ和牛」**

栃木で育てられた和牛で最高の肉質のものに許されるブランドが「とちぎ和牛」です。とちぎ和牛は、血統の明確な黒毛和種の子牛を、清潔な環境の中で、指定生産農家が1頭1頭、丹精こめて大切に育てあげたものです。とろける旨みをご賞味ください。全農肉牛枝肉共助会では全国の牛をおさえ、3年連続最優秀賞という実績も。

**とちぎのトマト**

「安全・安心」な健康トマト、とちぎのトマト。大自然の恵みがたっぷり詰まったジューシーなおいしさが口いっぱいに広がります。トマトはビタミンA、C、Eや、骨粗しょう症によいと言われるビタミンK、抗がん作用やカルシウムなど、私達の健康に役立つ成分がたくさん詰まっています。トマトはまさに「自然のお医者様!」。おいしくて、健康にいい栃木の完熟トマトをぜひご賞味ください。おいしいトマトを見分けるには、ヘタがピンとした新鮮な緑色をしているもの、やわらかい部分がないことがポイントとなります。

**とちぎのナシ「にっこり」**

「栃木なし」は生産者が長年培ってきた高い生産技術により誇りを持って作っています。「幸水」は8月～9月、「豊水」は9月、その後10月中旬～11月には「にっこり」が出荷されます。「にっこり」は、お父さんが味の良い「豊水」、お母さんが豊富な「新高」のかけ合わせ。国際観光地の日光と、梨を中国語でリーと呼ぶことから平成8年に「にっこり」と名付けられました。大きさはメロン大のビックな梨。お正月までおいしくいただけます。

全国で上位を占める栃木県の農産物

日本一の生産量を誇るいちご、にらをはじめ、全国に自慢できる農産物がたくさん生産されています。これらはみんな、とちぎの豊かな環境と優れた技術が生み出した、おいしさの芸術品です

品目	収穫量	全国順位
いちご	28,700トン	1位
にら	13,100トン	1位
かんぴょう	384トン	1位
あさ	6トン	1位
二条大麦	38,100トン	1位
こんにゃくいも	3,770トン	2位
陸稲	1,880トン	2位
生乳	335,856トン	2位
六条大麦	7,730トン	3位
スプレー菊	24,100トン	3位
日本なし	24,700トン	5位
さといも	8,850トン	5位
トマト	38,300トン	6位
りんどう	2020トン	6位
白菜	24,500トン	6位
ナス	19,600トン	6位

(平成16年)

**栃木コシヒカリ「穂の香」**

新潟に次ぐ流通量を誇る栃木のコシヒカリ「穂の香」。絵本作家のいわむらかずお先生のかえるくんでおなじみですね。おいしさに定評があり、お米の品評会とも言われる日本穀物検査協会の食味試験では、過去に何と5回も最高ランク「特A」を獲得。さめても粘りがありおいしいことから、コンビニのおにぎりにもつかわれています!

**とちぎのキャンボウ**

栃木県のかんぴょうは、300年近い歴史をもち、栽培面積・生産量とも全国の95%以上を占める特産物です。県産夕顔果実をひも状にむいて天日干しします。最近では輸入品のかんぴょうが出回っています。ぜひとちぎのかんぴょうを買って、みそ汁の卵とじて食べてみてください。とちぎの郷土料理でとてもおいしいです。戻し方は塩で柔らかくなるまで水洗いし、電子レンジで戻します。

**とちぎのニラ**

全国1位の生産量を誇る栃木のにら。カルシウムやカリウム、鉄分を豊富に含む栄養食品です。栃木のにらは、1年を通じて出荷があり、栄養たっぷりです。スタミナ抜群!有機肥料を施しじっくり育てているため、甘味があって風味がよく味わいに深みがあります。

クチコミ隊には特典が! 15番 tent に別紙のカードを持参して。ステキなプレゼントを用意しています。

## 東京食肉市場まつり 10/14(土)・15(日)

2006 2006年は栃木県! 待ってまーす!!

AM10:00~PM4:00 (15日はPM3:00まで)  
会場/東京都中央卸売市場食肉市場 <JR品川駅(港南口)より徒歩2分>

年に一度のお肉のフェスティバル 今年はずっと栃木県のブースです。とちぎ和牛の試食や栃木県産肉や国産肉の特別販売も! イベントも盛りだくさん。ぜひ来てね。

**トークショー!!** 14日 ガッツ石松さん 15日 落合恵子さん

お問い合わせは (社)とちぎ農産物マーケティング協会 TEL 028(626)2150

**買う!**

- 食肉・食肉加工品販売コーナー
- 革製品販売コーナー
- ビックスキン販売コーナー

**楽しむ!**

- TVヒーロー「仮面ライダー カブト」ショー (無料・15日)
- モツ煮込み試食コーナー (無料・15日)
- 銘酒豚のとんかつ・焼肉試食コーナー (無料)

**食べる!**

- とちぎ和牛のしゃぶしゃぶ試食コーナー (無料・14日)
- モツ煮込み試食コーナー (無料・15日)
- 銘酒豚のとんかつ・焼肉試食コーナー (無料)
- パン・ドリンク販売

**栃木県産物コーナー**

- 栃木県産物コーナー
- 輸入雑貨販売コーナー

**さまざまなステージイベント**

- 豪華賞品の当たる抽選会
- 大道芸パフォーマンス

**受補給クローン牛(Cビーフ)試食コーナー (無料)**

- 世界の屋台料理コーナー (有料)

## 第45回農林水産祭 「実りのフェスティバル」

■11月17日（金）10：30～17：00  
11月18日（土）10：00～17：00  
■東京国際展示場（東京ビックサイト）

「第45回農林水産祭実りのフェスティバル」が東京ビックサイトで開催されます。年に一度の日本の農業と水産の大イベント。全国のおいしいものが、ビックサイトに集結します。「とちぎ農産物クチコミ隊」のみなさんは、もちろん栃木県のブースを探して、とちぎの旬の農産物を確かめて。

クチコミ隊にはプレゼント付き

クチコミ隊は会場の栃木県ブースに同封の「特別プレゼント券」を持参して！ミニクラメン鉢をプレゼントします



## みんなで小松菜を作ろう

1期・2期・3期継続会員のみなさん、昨年のミニダイコンの出来はどうでしたか？今年とはとても作りやすい小松菜にしました。4期会員のみなさんもぜひ、同封した小松菜の種を庭やプランターに、お子さんと一緒に植えてみてください。お子さんがおもしろがって水やりを手伝ってくれるはず。でも水のあげすぎには注意を。二葉が出てきたら間引いて、みそ汁やサラダに入れて食べて。お子さんが食べ物の大切さを実感してくれます。途中経過をお子さんと一緒に、写真を撮って事務局に送ってね。次号の会報誌で紹介します。



## 虹のマークをたくさん見つけたよ！ クチコミ隊、大田市場へ行く！

日本一の東京都中央卸売市場「大田市場見学会」を、8月22日（火）に実施。市場の中に積まれているたくさんの農産物の箱から、とちぎの「虹のマーク」を探しながら、通常の見学コースの他に実際にセリが行われるセリ台や大型冷蔵庫など、忙しく動き回る市場の人々の間を縫いながら見学させていただきました。虹のマークの箱の種類を多く探したチビッコ会員には、とちぎの梨がプレゼントされました。

### 【参加者の声】

◆県によってダンボール箱が違うことなど、今まであまり意識していませんでした。ふ調という言葉も初めて耳にしました。なにげなく食べている野菜が、多くの人の手を経て、私たちが食べられる事を実感しました。  
◆市場の広さと、車や乗り物の多さに圧倒されました。子供にとっては、普段スーパーで一つしか見たことのない品物が、大量の箱と種類の多さでびっくりしていました。これからは、どこでダンボールを見ても、産地や種類に興味を持てるようになるのではないかと思います。  
◆とても貴重な体験でした。朝早く来たかがありました。  
◆普段は見学できないセリの場所や大きな冷蔵庫などに入れてもらい貴重な体験でした。  
◆栃木県はオレンジ・緑の虹のマークと覚え、関心を持つことが出来ました。日頃はスーパーでしか野菜・果物を買うことがないので、子供が、作り手→売り手→買い手→自分という流れが分かったようです。



市場の仕組みや競りの様子を東一さんに教えてもらいました



まずは2階の通常の見学コースから見下ろしました



ひろ～い市場の中、たくさんの虹のマークを探しました。一番多く見つけた子は、なんと〇種類を！



刈部副隊長(右)と斉藤所長(左)

大田市場見学会は朝7時30分集合。まずはとちぎ農産物クチコミ隊の刈部副隊長が、「輸入の農産物が多く出回っている中、どこでどどのように作っているのか理解できる国産の農産物」をしっかりと食べて欲しい。クチコミ隊のみなさんには、とちぎの農産物を理解して頂くには「東一」と「東二」の2社がある。今回は「東一」と「東二」の両社を訪問し、大田市場には卸が



刈部副隊長(右)と斉藤所長(左)

た。下の写真は、参加者は見られませんが、朝6時に始まったセリの様子。このセリ台で集合写真をパチリ(上の写真)。

大田市場見学会は朝7時30分集合。まずはとちぎ農産物クチコミ隊の刈部副隊長が、「輸入の農産物が多く出回っている中、どこでどどのように作っているのか理解できる国産の農産物」をしっかりと食べて欲しい。クチコミ隊のみなさんには、とちぎの農産物を理解して頂くには「東一」と「東二」の2社がある。今回は「東一」と「東二」の両社を訪問し、大田市場には卸が

11月11日（土）  
午前10時集合  
栃木県宇都宮市

## とちぎで野菜収穫体験！ 今回は「大根とブロッコリー、ソバ刈り」

参加者募集

### 申し込み方法

参加希望者は会員番号（封筒の宛名にあります）・全員の名前・年齢・住所・電話番号を書いて、〒320-0811栃木県宇都宮市大通り1-4-24、とちぎ農産物クチコミ隊事務局「収穫体験」係。FAX028-600-8801、メールwatanabe@m-living.com 締め切り=10月17日（火）必着。後日、詳しい地図や近場の観光案内を送ります。

これまでクチコミ隊の秋の収穫体験は、ゴボウ、大根、里芋、落花生、レタス、モロヘイヤなどをしてきました。今回は大根とブロッコリー、そしてソバの刈り取りです。実は今回の収穫体験のために、8月30日、クチコミ隊長の家の畑に隊長と事務局スタッフで、大根とブロッコリーを植えました。皆さんが収穫体験する日は、成長がちょうどになる予定。下の様子をご覧ください。体験は正午で終了解散。その後は観光地へ出かけてもOK。また、当日は車で10分の場所です。食肉市場祭りが開催されています。栃木産の肉や農産物、食べ物のテントもたくさんあります。



クチコミ隊の畑が完成しました！右がソバ畑。カマキリも応援してくれました



左側に大根の種を5粒ずつまきました。右はブロッコリーの苗を植える穴を開けています



まずは土作りから。石灰をまいて肥料を入れてうねを作ります。石灰は土壌をアルカリにして病気を発生しにくくします。カルシウムが含まれているので生育もよくなります。



ブロッコリーの苗を丁寧に植え付けます



苗を植える穴に肥料を入れ、苗にたっぷり水をあげます。



畑の横の水路から水を汲んで毎日夕方、隊長が水やりしてくれました



1週間後に追肥してまたうねをかき起して土を寄せます。雑草も倒れ倒れ除草剤は使いたしません

クチコミ隊の畑作ったよ。大根とブロッコリーを、たくさん植えました。奥のソバ畑も順調！みんなが来るころは、どれもおいしいからね。楽しみにしていて！



11月11日（土）、収穫体験で待っています。この畑は吉澤隊長の家の畑を借りて8月30日の暑い日、頑張ってつくりました。どう変わっているかぜひ見に来てください。



26日目のクチコミ隊の畑 大根とブロッコリー(右)

26日目の大根とブロッコリー(右)

◆クチコミ隊のキャッチフレーズは『クチコミ隊はとちぎの親戚みたいなものだから！』です。平成18年度「とちぎ農産物クチコミ隊」会員は407組の親子が隊員となってスタートいたします。栃木県がクチコミ隊のみなさんにとって、第二の故郷になってもらえたら大変うれしいです。そして私たちクチコミ隊事務局や生産者・関係者は、隊員のみなさんととちぎの親戚と思い、親しみを持っておつき合いさせていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。会員番号は封書の宛名に明記。忘れないようにメモしてください。申し込みなどに会員番号は必ず書いていただきます（事務局 渡辺）